

全 体

- 出題範囲：「歴史総合」・「日本史探究」の範囲内で、総合的・基礎的な知識を幅広く出題する。なお 2025 年度は旧教育課程履修者の学習内容に配慮する。
- 形 式：大問 2 題で、それぞれにテーマ別のリード文を提示し、空欄補充、歴史事象・用語に引かれた下線部に関する関連事項、図表・史料の読み取りを問う。
2025 年度のリード文では、文化史、国際関係史、土地制度史、農村史、外交史、経済史、都市史、教育史、人口史、アイヌ史などを取り上げた。
- 時 代：原始・古代から現代まで。出題にあたり、特定の時代のみを取り扱わない。
- 分 野：政治・経済・外交・社会・文化などの諸分野。出題にあたり、特定の分野のみを取り扱わない。
- 強 調 点：国際環境の変化（特に東アジア・ユーラシアの動向）、市場経済の変容、日本の伝統・文化の成立・発展、産業社会・国民国家の形成、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化、女性の社会進出、生活文化の多様性、科学技術の革新などを通して、現代社会の基本的な構造がどのような歴史的な変化・文脈の中で形成されてきたのかを問う。

問 い 方

- 空欄補充（記述・選択・語句組合せ）：歴史事象・用語について正確な知識・理解を問う。
- 正文選択・誤文選択・2 文正誤選択：歴史事象について正確な知識・理解を問う。
- 年代整序：歴史事象について、時系列的な因果関係および展開プロセスについて正確な理解を問う。
- 図表・史料：地図、写真、図、統計グラフ、法令、条約を通して、歴史事象についての正確な知識・理解を問うとともに、それらの歴史的背景の理解を問う。

目 標

- 原始・古代以降の日本列島の歴史に関わる諸事象について、地理的条件や世界史と関連付けて総合的に理解するとともに、歴史事象の意味・意義、伝統と文化の特色などを考察することができるか。
- 歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色を、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目し、多面的・多角的に考察化して概念化できるか。
- 歴史に見られる課題を把握し、解決を視野に入れて構想し、考察・構想したことを効果的に説明して、説明することができるか。
- 時期や推移などに着目して因果関係を理解し、時代転換の様子や各時代の特色を正確に捉え、歴史上の諸課題について、複数の立場や意見を踏まえて構想できるか。
- 原始・古代以降の日本列島における政治・外交・経済・思想・文化などの国際的な結び付きを理解しているか。